

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社  
 コード番号 5999 URL <https://www.ihara-sc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長岡 敏  
 (氏名) 中川路 豊

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,851	43.3	3,328	104.6	3,498	111.0	2,512	81.6
2021年3月期第3四半期	10,365	△8.1	1,626	△7.3	1,658	△6.1	1,383	12.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,531百万円 (76.2%) 2021年3月期第3四半期 1,436百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	235.12	233.51
2021年3月期第3四半期	131.06	130.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	26,355	21,369	80.5	1,972.71
2021年3月期	24,092	19,310	79.7	1,817.92

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 21,229百万円 2021年3月期 19,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	47.00	47.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	38.7	4,000	52.7	4,220	54.0	2,980	38.8	278.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載の通りです。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	14,000,000 株	2021年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,238,604 株	2021年3月期	3,438,604 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	10,687,215 株	2021年3月期3Q	10,559,847 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、記載している予想に関する事項は2ページを参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染蔓延による影響が見られたものの、各国の経済対策やワクチン接種の進展により製造業を中心に回復傾向にありました。

このような経済環境のもと、当社グループは配管を科学し、「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望むコストで」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」を合言葉に「感動創造企業」の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりました。

販売面では、データセンター向け、自動車向けの半導体需要の拡大により半導体関連メーカーの設備投資が増え、また、建設機械及び工作機械の需要も回復基調にあり、当社グループ製品の受注は増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は148億51百万円（前年同四半期比43.3%増）となり、営業利益は33億28百万円（同104.6%増）、経常利益は34億98百万円（同111.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億12百万円（同81.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

#### (C P事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を販売・生産していますが、半導体業界における設備投資の拡大により、売上高は92億12百万円（前年同期比53.3%増）となり、セグメント利益は33億4百万円（同81.0%増）となりました。

#### (G P事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を販売・生産していますが、建設機械市場、工作機械市場における需要回復により、売上高は55億94百万円（前年同期比25.1%増）となり、セグメント利益は13億17百万円（同41.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億62百万円増加し、263億55百万円となりました。これは、売掛債権が14億88百万円増加し、棚卸資産が11億53百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加し、49億85百万円となりました。これは、買掛金が1億61百万円増加したことなどによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億59百万円増加し、213億69百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益25億12百万円と配当金支払い4億96百万円により利益剰余金が18億60百万円増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末79.7%から当第3四半期連結会計期間末80.5%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末1,817円92銭から当第3四半期連結会計期間末1,972円71銭となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、半導体関連メーカーの設備投資の拡大、建設機械及び工作機械の需要の回復により、当社グループ製品の受注は増加し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績を大幅に上回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましても、前回予想を上回る見込みであるため、2021年11月5日に公表した予想数値を修正いたしました。

詳細については、本日2022年2月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2022年3月期期末配当において、1株あたり5円の記念配当を実施させていただくことといたしました。

この結果、2022年3月期の配当予想は、1株あたり53円と修正いたします。

詳細については、本日2022年2月8日に公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,230	6,620
受取手形及び売掛金	3,576	4,629
電子記録債権	775	1,210
商品及び製品	564	730
仕掛品	1,354	1,820
原材料及び貯蔵品	1,544	2,065
その他	323	446
流動資産合計	15,371	17,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,102	2,995
機械装置及び運搬具（純額）	1,074	984
土地	2,386	2,386
建設仮勘定	66	87
その他（純額）	63	88
有形固定資産合計	6,693	6,543
無形固定資産	440	441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074	1,293
長期貸付金	8	4
繰延税金資産	298	387
その他	205	163
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,586	1,848
固定資産合計	8,721	8,832
資産合計	24,092	26,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	977	1,138
短期借入金	637	537
未払金	257	304
未払法人税等	482	684
賞与引当金	—	161
役員賞与引当金	10	—
その他	340	331
流動負債合計	2,705	3,157
固定負債		
長期借入金	340	114
退職給付に係る負債	1,223	1,200
長期末払金	278	278
資産除去債務	71	71
長期預り保証金	161	162
固定負債合計	2,076	1,827
負債合計	4,781	4,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	620	618
利益剰余金	19,473	21,333
自己株式	△2,723	△2,565
株主資本合計	18,934	20,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231	244
為替換算調整勘定	34	34
その他の包括利益累計額合計	265	278
新株予約権	91	116
非支配株主持分	18	24
純資産合計	19,310	21,369
負債純資産合計	24,092	26,355

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	10,365	14,851
売上原価	7,429	10,001
売上総利益	2,936	4,849
販売費及び一般管理費	1,309	1,521
営業利益	1,626	3,328
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	21
為替差益	—	66
持分法による投資利益	53	75
その他	25	27
営業外収益合計	103	192
営業外費用		
支払利息	7	5
為替差損	57	—
その他	7	15
営業外費用合計	72	21
経常利益	1,658	3,498
特別利益		
補助金収入	302	—
特別利益合計	302	—
税金等調整前四半期純利益	1,960	3,498
法人税、住民税及び事業税	573	1,075
法人税等調整額	2	△94
法人税等合計	575	981
四半期純利益	1,384	2,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,383	2,512

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,384	2,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	13
為替換算調整勘定	△3	21
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△21
その他の包括利益合計	52	13
四半期包括利益	1,436	2,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436	2,525
非支配株主に係る四半期包括利益	0	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、子会社の海外取引について、認識時点を一部変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって運用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P事業部	G P事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,833	4,437	10,271	93	10,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	174	32	207	—	207
計	6,008	4,470	10,479	93	10,573
セグメント利益	1,825	928	2,754	47	2,801

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,754
「その他」の区分の利益	47
セグメント間取引消去	△6
全社費用(注)	△1,168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,626

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,189	5,544	14,734	117	14,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	50	72	—	72
計	9,212	5,594	14,807	117	14,924
セグメント利益	3,304	1,317	4,621	55	4,676

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,621
「その他」の区分の利益	55
セグメント間取引消去	△47
全社費用(注)	△1,301
四半期連結損益計算書の営業利益	3,328

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。